

税についての提案

江差町立江差中学校3年 渋谷 美羽

消費税。誰しも払ったことがある身近な税です。「消費税はいらない。」や「高すぎる。」などの否定意見、「消費税は必要。」などの肯定意見。税に対して思うところはいろいろあると思います。私も思うところがあるので、ある提案をしようと思います。

私の提案は「生活に必須なものは税率を下げて、逆に生活に直接必要ないものは税率を上げる」というものです。生活に必須なものというのは、例えば野菜などの食料品、生理用品や乳児、幼児用品などの生活に直接必要なものです。特に生理用品に対しての税率の軽減は学生などの手が届きにくい女性のために必要だと考えます。

生活に直接必要ないものというのは、例えばたばこやお酒などです。これらはなくとも生きていけます。愛煙家や愛酒家の方にとっては厳しいところもあります。ですが、たばこやお酒と距離をとるきっかけにすることでがんになるリスクや事故のリスクを下げることができると推測します。

もしこれらが実行されると、国民の大きな助けとなり、生活に大きな余裕が生まれると考えられます。国民の生活に直接関わる消費税。少子化や高齢化などの深刻な社会問題が進んでいる今の日本に必要なのは国による国民を助ける取り組みだと私は思います。

この意見に対して反対意見も賛成意見もあると思います。ですが、どちらにしても税への理解と興味関心がないと何も言えないと思うので、まず正しく知ることと、興味をもつことが大切だと考えます。

これまで述べてきたように、日本では税の見直しが必要だと考えます。また、ここで取り上げなかった、所得税や相続税、法人税なども見直しが必要だと考えます。国民の声を取り入れ、国が税を見直すことが多くの人々にとって生活が楽になります。

まずは、国民みんなが税について知ることが大切です。税と人々の生活はとも深く関わっています。税について知るとは、言ってしまうと人生を賢く送るための術だと私は考えます。